

主催／山口市

山口ヒストリア講演会

長州藩と幕末政治 その①

〜吉田松陰から八月十八日の政変まで〜



講師／町田明広先生

(神田外語大学外国語学部国際コミュニケーション学科准教授)
兼 日本研究所副所長、明治維新史学会理事)

山口県立山口図書館
レクチャールーム

2018/10/14 Sun.
14:00 ~ 16:00
(開場 13:30)

聴講料／無料 (先着 250人)

申込み／ハガキまたはメールで郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記の上、下記までお申し込み下さい。受付後、聴講券をお送りしますので、当日ご持参下さい。なお、席に余裕のある場合は当日でも聴講出来ます。

※講演会では要約筆記を行います。聴覚障がいをお持ちの方も安心して御参加いただけます。

問い合わせ先／山口市交流創造部文化交流課歴史文化のまちづくり推進室 (分室)

〒754-8511 山口市小郡下郷 609 番地 1 電話：083-973-2438 E-mail：s-hensan@city.yamaguchi.lg.jp

※公共交通機関など、環境負荷の少ない交通手段での来場に御協力をお願いします。



江水散花雪(国立国会図書館蔵)



幕末政治の主役は、間違いなく長州藩です。吉田松陰、木戸孝允、高杉晋作、久坂玄瑞、吉田稔麿、伊藤博文、長井雅樂といった人物を輩出し、様々な事件に関わりながら幕末をけん引しました。尊王攘夷運動の旗手として、常に政治的動向の先頭にありました。一方で、政治思想である攘夷については、未来攘夷と即時攘夷を行き来し、その動向は複雑です。

今回は長州藩の基礎的事項を踏まえた上で、具体的には、吉田松陰の思想と下田渡海事件、松陰の対外思想と歴史的意義、安政の大獄と松陰の刑死、長州藩の藩是・航海遠略策、破約攘夷への転換と薩長対立、長州ファイブの結成とその意義、下関戦争と八月十八日政変の実相などを論じ、攘夷思想の実態を解明します。

最新の研究成果を織り込み、歴史の大きな流れを俯瞰しながら、幕末維新史を分かり易く、そして深くお伝えします。幕末維新史初心者の方から、ある程度ご関心をお持ちの方まで、幅広く受講いただける内容です。

(町田明広)